

京都府犯罪被害者支援情報

メールマガジンNo.92



発行日：平成29年10月20日

発行元：京都府府民生活部

安心・安全まちづくり推進課

京都府犯罪被害者サポートチーム事務局

TEL 075-414-5076 FAX 075-414-4255

mail anshinmachi@pref.kyoto.lg.jp

～ともに寄り添う犯罪被害者等支援事業～

闇サイト殺人事件被害者遺族 磯谷富美子氏の講演会を実施しました

京都府・警察庁の共催で9月27日(水)午後1時から、京都市上京区の京都ガーデンパレスで、闇サイト殺人事件被害者遺族である磯谷富美子氏の御講演を開催しました。

後援：京都市、公益社団法人京都犯罪被害者支援センター

※ 以下講演内容を一部御紹介します。

「闇サイト殺人事件の被害者遺族となって」

数年前に娘と同じような事件が起きたことを皆様御存知だと思います。闇サイトで集った3人の男たちによって女子中学生が誘拐されました。この方の場合は御両親に身代金の要求があったようですが、娘の場合は、暗証番号を聞き出そうとしましたので、娘本人にお金の請求があったようなものです。幸いにあの女子中学生の方は何事もなく御両親の元に戻られ、本当に心から「良かった」と思わずにはいられません。

事件が起きると事件に関するニュースが流れますが、残された遺族のその後の生活は中々表に出てこないために分かりません。遺族は大切な人を亡くしたという被害以外に、様々な被害を被ります。今日は一遺族として、事件によってどのように生活が変化し、今日までどのように過ごし、何を思ったかをお話しさせていただきます。事件から10年以上経っていますので、既に行われていることや元々行われていたことなどがあるかと思いますが、私の体験として聞いていただきたいと思います。遺族の痛みや苦しみを少しでも御理解いただくことが、被害者支援につながる第一歩だと思います。被害者が二次被害等で苦しむことがないように、また同じような被害者や遺族を作ることのないように、司法を含め社会全体が変わっていくことを願います。

(中略)

何年経っても、何かの拍子にフラッシュバックして事件当時に戻ってしまい、どうしてもなく辛く苦しくなる時があります。そんな時は同じような御遺族のことを想い、辛いのは私だけではない、同じように辛い思いをしながら頑張っている方がたくさんいらっしゃるのではないかと。

他の人にできることなら私にもできないはずはないと、自分自身を奮い立たせています。生きている限りこの繰り返しが続いていくのでしょう。

最後に皆様に、娘が残した言葉を贈りたいと思います。娘は囲碁をやっていましたが、その仲間との連絡はインターネットのミクシィを通じて行っていました。娘が亡くなった時、それをコピーしたものをもらいました。その中に「突然の別れ」という題で、会社関係の方が突然お亡くなりになったときに書いたものがありました。これはその一部です。娘が亡くなる3か月ほど前のことです。「人と人とのつながりって、普通に今日も明日も変わらずに続くと思ってしまうのですが、今回みたいなのがあると知り知らされます。どうして明日もまた無邪気に会えると信じてしまっているのでしょうか。もっと身の回りの人との関係を大事にしていかなければならないなって思いました。今、この時が最後になるかもしれないのですよね。」これとは別に、私への遺言として受け取った言葉があります。

「悲しむよりも楽しかった思い出を大事にして、いつまでも忘れないでいよう。」

長い時間御清聴いただきありがとうございました。

© 京都府 まゆまろ 2854003

サポートチーム 被害者相談専用電話 075-414-5700

(受付)月～金 8:30～17:15(年末年始・祝日除く)

